

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 生活支援の理念と介護における尊厳の理解		
指導目標	1 人間観や人間像の理解に基づいた尊厳を支える介護・福祉について理解させる。		
	2 介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を形成する。		
細目	時間	内容	
生活支援の理念と介護における尊厳の理解① 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	1 人間理解と尊厳	① 人間理解の視点、豊かな人間観、多様な価値観 ② 老い ③ 尊厳 ④ 死生観 ⑤ 性
生活支援の理念と介護における尊厳の理解② 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	2 生活の考え方 3 福祉の支援の考え方	① 生活の定義 ② 生活の支援の考え方 ① これまでの福祉の考え方の流れ ② ノーマライゼーション ③ QOL ④ 家族介護から社会的介護へ ⑤ エンパワメント、共生
生活支援の理念と介護におけるの理解③ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	4 介護の基本的な視点と意義	① 尊厳を支えるケア ② 介護の定義 ③ 介護職の専門性 ④ 健康かつ主体的、能動的な生活に向けた自立支援 ⑤ ICFの視点に基づく援助 ⑥ 介護の専門性とチームケア
生活支援の理念と介護におけるの理解④ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	5 地域生活支援と保健・医療・福祉サービス及びインフォーマルな活動等とのトータルなネットワーク	① すべての人を対象とする地域生活支援 ② 地域アセスメント ③ 資源調整と啓発 ④ フォーマルサービスやフォーマル活動等のトータルなネットワークの重要性
生活支援の理念と介護におけるの理解⑤ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	6 利用者の権利と尊厳	① 利用者の権利擁護・アドボカシー ② 虐待の防止 ③ 身体拘束の禁止
時間数合計	30		
使用する機器・備品等	プロジェクター		
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	2 老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解		
指導目標	1 介護保険法、障害者自立支援法を中心とした高齢者・障害者の医療・保健・福祉制度及びサービスについて理解させる		
	2 各サービスの役割と業務について理解し、利用者の立場に沿ってサービス利用の流れを理解させる		
	3 各地域の制度・サービスの現状・特徴について理解させる		
細目	時間	内容	
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解① 担当講師 野村 広之	9:30 6 16:40	1 高齢者保健福祉制度と施策	① 高齢者保健福祉の背景と動向 ② 介護保険制度の概要 ③ その他高齢者保健制度
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解③ 担当講師 高松 聡	9:30 6 16:40	2 社会保障制度改革の背景	① 人口の動向 ② 負担と受給のバランス、世代間公平
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解③ 担当講師 高松 聡		3 自分の住む街の制度・サービス	① サービス事業所 ② サービス提供体制 ③ 保険料とサービス水準 ④ 都道府県、市区町村独自の施策・制度
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解③ 担当講師 高松 聡	9:30 6 16:40	3 その他の制度・施策	① 医療制度 ② 年金制度 ③ 住宅と居住施策 ④ 児童福祉 ⑤ 生活保護 ⑥ 地域福祉施策 ⑦ 成年後見、権利擁護、虐待防止などの制度・施策
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解④ 担当講師 高松 聡	9:30 6 16:40	4 障害者福祉制度と施策 5 その他の制度・施策	① 障害者福祉の背景と動向 ② 障害者保健福祉制度の概要 ① 医療制度 ② 年金制度 ③ 住宅と居住施策 ④ 児童福祉 ⑤ 生活保護 ⑥ 地域福祉施策 ⑦ 成年後見、権利擁護、虐待防止などの制度・施策
老人、障害者等が活用する制度及びサービスの理解⑤ 担当講師 野村 広之	9:30 6 16:40	6 介護サービスの現状、動向、利用支援等	① 各サービスの種類、内容、その役割 ② ケアマネジメントのしくみ、機関とその役割 ③ 業務内容、運営基準、契約等の理解 ④ 小規模・個別ケア、ユニットケア ⑤ 介護予防と地域包括支援センター ⑥ 日常生活圏域と小規模多機能サービス ⑦ 第三者評価、介護サービス情報の公開 ⑧ 苦情の受付 ⑨ 利用者からみたサービス利用の流れと利用支援等の留意点
時間数合計	30		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署		講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村		H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	3 老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解			
指導目標	1 加齢・老化に伴う変化及び各種障害、主要疾患の概要について理解させる			
	2 介護場面で直面する頻度の高い症状、疾病、障害を医学的に理解させる			
細目	時間	内容		
老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解① 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	1 加齢と生理	① 加齢の生理学 ② 高齢者の栄養と睡眠	
老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解② 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	2 高齢者に多い疾病の医学的理解	① 三大死因の疾病 ② 高血圧と糖尿病 ③ 循環器系疾患 ④ 眼科疾患 ⑤ 皮膚科疾患 ⑥ 泌尿器系疾患 ⑦ 呼吸器疾患 ⑧ 筋骨格系疾患 ⑨ 精神疾患 ⑩ 神経系疾患 ⑪ 介護保険での特定疾病	
老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解③ 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	3 感染症の理解と予防	① 感染症の種類と特徴 ② 高齢者に起こりやすい感染症 ③ 予防と留意点 ④ 感染症の媒介とならないための介護上の留意点	
老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解④ 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	4 訴えと症状の理解	① 健康チェックとバイタルサイン ② 呼吸器症状と感染症等の疾病 ③ 消化器症状と食中毒等の疾病 ④ その他の訴え・症状と疾病	
老人、障害者等の疾病、障害等に関する理解⑤ 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	5 疾病、障害と生活支援	① 障害の概念 ② 知的障害、ダウン症、自閉症、学習障害等 ③ 身体障害 ④ 精神障害 ⑤ 視覚障害、言語・聴覚障害 ⑥ 内部障害	
時間数合計	30			
使用する機器・備品等				
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト			

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	4 認知症の理解		
指導目標	1 認知症の病理や症状、治療について理解させる		
	2 認知症利用者の支援の視点、介護の原則について学ばせる		
	3 認知症利用者への援助方法を学ばせる		
	4 認知症利用者の家族の立場を理解させる		
	5 認知症を支える専門職の役割を学ばせる		
細目	時間	内容	
認知症の理解① 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	1 認知症の医学的背景の理解	① 年齢相応の物忘れと疾患としての認知症の区別 ② 認知症の問題となる基本障害と行動 ③ 認知症を引き起こす原因疾病、発生誘因 ④ 認知症と間違えられやすい症状 ⑤ 若年性認知症
認知症の理解② 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	2 認知症の心理・行動の理解	① 認知症の心理・行動モデル ② 症状と障害の考え方 ③ 問題とみなされがちな行動の捉え方と対応
認知症の理解③ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	3 認知症の利用者への支援・介護の考え方	① 介護の原則と観察 ② 健康管理、廃用性症候群 ③ 生活環境 ④ 社会環境 ⑤ コミュニケーション ⑥ 問題とみなされがちな行動と介護職としての捉え方
認知症の理解④ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	4 認知症介護における医療・保健・福祉・関係機関、地域資源との連携、及び自立支援のための地域による支えあい	
認知症の理解⑤ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	5 家族へのケア	① 家族の心理の共感的理解 ② 専門家としての関わり、対応の方法
時間数合計	30		
使用する機器・備品等	プロジェクター		
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	5 介護におけるコミュニケーションと介護技術		
指導目標	1 介護の考え方、視点を理解させる		
	2 利用者とのコミュニケーション、心のケアのための、基礎的態度、技術を習得させる		
	3 利用者を尊重し、個人の尊厳を支えるケアの実際を学ばせる。		
	4 利用者の自立支援・地域生活支援の観点から、心身機能の低下プロセスにそって、介護の意味と基本的な介護技術を習得させる		
	5 介護予防の考え方と方法を習得させる		
細目	時間	内容	
介護における コミュニケーションと 介護技術① 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	1 介護の考え方・視点 2 介護における コミュニケーションと 信頼関係形成	① 介護課程の理解 ② ICFの考え方の理解 ① 他者理解と共感、受容 ② 傾聴的態度 ③ 自己覚知、気づき ④ 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ⑤ 言語視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション ⑥ アセスメントにつながるコミュニケーションの とりかた ⑦ 専門職としての効果的なアドバイス
介護における コミュニケーションと 介護技術② 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	3 高齢者、障害者(児) の理解と心のケア	① 高齢者、障害者(児)の心理の理解 ② 高齢者、障害者(児)の人間関係 ③ 日常生活における心的安定と活性化の視点と技術 ④ 「寄り添う」ことの意義と実際 ⑤ 感情表現できるような働きかけ ⑥ 利用者のペースや居場所の尊重など自立支援への配慮 ⑦ 治療的かかわりの可能性 ⑧ 障害の受容の理解 ⑨ ターミナル・死の受容の理解
介護における コミュニケーションと 介護技術③ 担当講師 梅垣 裕樹	9:30 6 16:40	4 介護予防の考え方と 方法	① 生活の中の介護予防 ② 介護予防プログラムの基礎
介護における コミュニケーションと 介護技術④ 担当講師 團野 千津代	9:30 6 16:40	5 基本的な介護技術の 習得	① 移乗
介護における コミュニケーションと 介護技術⑤ 担当講師 森本 裕之	9:30 6 16:40	6 基本的な介護技術の 習得	① 食事 ② 口腔ケア ③ 歩行 ④ 移動 ⑤ 外出
介護における コミュニケーションと 介護技術⑥ 担当講師 沼田 綾子	9:30 6 16:40	7 基本的な介護技術の 習得	① 衣服の着脱 ② 睡眠、夜間のケア

介護における コミュニケーションと 介護技術⑦ 担当講師 木村 卓志	9:30 16:40	6	8 基本的な介護技術の 習得	① 入浴 ② 整容 ③ 清潔
介護における コミュニケーションと 介護技術⑧ 担当講師 村上 由佳	9:30 16:40	6	9 基本的な介護技術の 習得	① 排泄
コミュニケーションと 介護技術⑨ 担当講師 長田 知也	9:30 16:40	6	10 福祉用具の活用と 住宅改修による 自立支援	① 生活環境の捉え方 ② 在宅の生活と福祉用具・住宅改修の意義 ③ 福祉用具、住宅改修の基礎
介護における コミュニケーションと 介護技術⑩ 担当講師 團野 千津代	9:30 16:40	6	11 基本的な介護技術の 習得	① 移乗
介護における コミュニケーションと 介護技術⑪ 担当講師 村上 由佳	9:30 16:40	6	12 基本的な介護技術の 習得	① 排泄
介護における コミュニケーションと 介護技術⑫ 担当講師 森本 裕之	9:30 16:40	6	13 基本的な介護技術の 習得	① 食事 ② 口腔ケア ③ 歩行 ④ 移動 ⑤ 外出
介護における コミュニケーションと 介護技術⑬ 担当講師 沼田 綾子	9:30 16:40	6	14 基本的な介護技術の 習得	① 衣服の着脱 ② 睡眠、夜間のケア
介護における コミュニケーションと 介護技術⑭ 担当講師 木村 卓志	9:30 16:40	6	15 基本的な介護技術の 習得	① 入浴 ② 整容 ③ 清潔
コミュニケーションと 介護技術⑮ 担当講師 團野 千津代	9:30 16:40	6	16 基本的な介護技術の 習得	① 総合演習
時間数合計		90		
使用する機器・備品等	ベッド3台 浴槽1台 ポータブルトイレ3台 車イス3台 その他介護用品一式 プロジェクター			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト			

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	6 生活支援と家事援助技術		
指導目標	1 医療・看護との連携の必要性和チームの一員としての介護職の役割を理解させる		
	2 介護職がふれる機会の多い医療機器や薬、関する基礎知識を習得させる		
	3 医療ニーズを持つ利用者に対して、医療・看護との連携の下で行う介護技術を習得させる		
	4 ターミナルケアへの対応について理解させる		
細目	時間	内容	
生活支援と家事援助技術① 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	1 生活の理解 ① 現代生活の枠組み ② 生活形成プロセス ③ 生活経営 ④ 家事労働 2 「生活支援」の枠組みの中における家事援助の意義・役割	
生活支援と家事援助技術② 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	3 高齢者、障害者(児)に対する家事援助の機能と基本原則 ① 意欲を引き出す働きかけ ② なじみの関係、なじみの家具調度・食器 ③ 利用者に合わせた生活 ④ 家事援助と介護予防、自立支援 ⑤ 信頼関係の構築 ⑥ 生活習慣の理解、多様な価値観の受容 ⑦ ニーズとディマンズ ⑧ 秘密保持 ⑨ ノーマライゼーションの視点 ⑩ 介護保険制度に規定される訪問介護の範囲 ⑪ 社会資源、代替サービスの有効利用等	
生活支援と家事援助技術③ 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	4 食生活の支援 ① 高齢者、障害者(児)と栄養ケアマネジメント食生活のあり方 ② 調理方法の基本的な考え方と調理技術 ③ 生活習慣病等に必要の食事の知識・特別食 ④ 食品衛生の基礎理解、食品衛生に関連した法規	
生活支援と家事援助技術④ 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	5 被服生活の支援 ① 高齢者、障害者(児)と被服の役割と機能 ② 被服の管理、洗濯、清潔 ③ 取り扱い表示の種類と意味、繊維の種類とおもな長所・短所	
生活支援と家事援助技術⑤ 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	6 住生活の支援 ① 高齢者、障害者(児)と住居の役割と機能 ② 快適な環境の維持と安全管理 ③ 室内整備と掃除、清潔な環境 ④ 混乱や失敗を招かない環境作り ⑤ 場所間違い等の防止 ⑥ 住居の中での事故と対応	
時間数合計	30		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	7 医療及び看護を提供する者との連携		
指導目標	1 医療・看護との連携の必要性和チームの一員としての介護職の役割を理解させる		
	2 介護職がふれる機会の多い医療機器や薬、関する基礎知識を習得させる		
	3 医療ニーズを持つ利用者に対して、医療・看護との連携の下で行う介護技術を習得させる		
	4 ターミナルケアへの対応について理解させる		
細目	時間	内容	
医療及び看護を提供する者との連携① 担当講師 飯田 千代	9:30 6 16:40	1 医療・看護との連携の基礎的理解 2 訪問看護の基礎的な理解	① 医療・看護との連携の必要性の理解と方法 ② 非医行為の範囲と対応の基礎 ① 訪問看護制度 ② 訪問看護の援助内容 ③ 在宅医療・在宅看護の進展
医療及び看護を提供する者との連携② 担当講師 飯田 千代	9:30 6 16:40	3 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解	① 胃瘻、腸瘻、鼻腔栄養、中心静脈栄養、点滴 ② 吸入吸引 ③ 人工呼吸器、在宅酸素 ④ 浣腸、摘便 ⑤ 人工肛門、人口膀胱 ⑥ 薬
医療及び看護を提供する者との連携③ 担当講師 鳥居 峰子	9:30 6 16:40	4 褥そう予防に関する基礎的な理解 5 ターミナルケアの対応	① 要因と発生機序 ② 介護職が行う褥そう予防・悪化の防止 ③ 医療職が行う褥そうの治療・処置 ① ターミナルケアの条件と介護職の役割
医療及び看護を提供する者との連携④ 担当講師 飯田 千代	9:30 6 16:40	6 緊急時の対応法	① 緊急時における連絡・連携と介護職の役割
医療及び看護を提供する者との連携⑤ 担当講師 長田 知也	9:30 6 16:40	7 リハビリテーション医療の基礎的理解	① リハビリテーションの理念、基礎 ② リハビリテーションの医療の課程とリハビリテーションマネジメント、脳卒中モデル、廃用性症候群モデル ③ リハビリテーションチーム職種との連携
時間数合計	30		
使用する機器・備品等	プロジェクター、医療器具、救命人形		
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	8 介護における社会福祉援助技術		
指導目標	1 介護において求められるソーシャルワークについて、理念を理解し実践的援助技術を習得させる		
	2 地域を含めた生活環境づくりの視点と方法を理解させる		
	3 困難事例等への対応において、チームの一員として、どのような役割を果たすべきか考え、連携の具体的方法を学ばせる		
	4 利用者家族とのコミュニケーション技術、家族支援の具体的方法を学ばせる		
細目	時間	内容	
介護における社会福祉援助技術① 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	1 介護におけるソーシャルワークの基礎的理解	① 介護におけるソーシャルワークの必要性 ② ソーシャルワークの目的と内容 ③ ソーシャルワークの展開
介護における社会福祉援助技術② 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	2 介護における相談援助技術の習得	① 相談援助とバイステックの7原則 ② 高齢者・障害者(児)の家族の心理の理解
介護における社会福祉援助技術③ 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	3 地域に根ざした包括的なケアの必要性 4 地域生活支援の実際	① 地域生活を支える総合的な住宅ケアシステム ② 各種社会資源・インフォーマルサービスの活用・開発 ③ 事業者間連携 ④ 施設から在宅へのサービス展開 ① 利用者の生活空間を地域に広げる視点 ② 利用者のインフォーマルなつながりの重要性 ③ 近隣への依頼・連携の方法 ④ 地域環境を活かしたケアの実際 ⑤ 地域資源とのネットワーク作り
介護における社会福祉援助技術④ 担当講師 森 恵子	9:30 6 16:40	5 困難事例に対する援助活動の展開	① サービス拒否、た問題ケース、家族とのトラブル ② 不適正事例
介護における社会福祉援助技術⑤ 担当講師 高松 聡	9:30 6 16:40	6 虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応 修了試験	① 介護サービスを通じての問題発見 ② 問題が疑われる場合の対応 ③ 相談機関との連携 ④ エンパワメント・アドボケート
時間数合計	30		
使用する機器・備品等	プロジェクター		
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	9 生活支援のためのアセスメントと計画		
指導目標	1 ケアプランのアセスメント、作成方法を学び、生活全体をプランする「生活プラン」を学ばせる		
	2 アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画との関係を理解させる		
	3 ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携について理解させる		
細目	時間	内容	
生活プランのアセスメントと計画① 担当講師 村上 由佳	13:30 6 16:40	1 生活プランの考え方	① 生活全体のアセスメント ② 生活全体のプランニング支援 ③ 生活プランとケアプラン
生活プランのアセスメントと計画② 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	2 ケアプランとサービス計画の内容・機能	① 施設ケアプランと居宅ケアプランの内容 ② 居宅・施設サービス計画・各サービス計画とサービスの関係
生活プランのアセスメントと計画③ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	3 ケアプランとサービス計画の作成手順	① アセスメントとニーズの把握 ② 居宅ケアプランの作成 ③ ICFに基づくアセスメントや実践への展開 ④ 各サービス計画の作成
生活プランのアセスメントと計画④ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	4 ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際	① ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ② 介護職のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し
生活プランのアセスメントと計画⑤ 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	5 地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点	① 利用者の希望を把握・推測するための視点・方法 ② 利用者のインフォーマルなつながりの把握の視点 ③ 外出支援のプログラム等における安全への配慮の視点・方法 ④ 地域生活支援の際の利用者・家族への説明・同意・契約
時間数合計	30		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	10 介護職員の倫理と職務		
指導目標	1 職業人としての倫理の重要性、自己管理の重要性を理解させる		
	2 事業別の職務内容、介護職の倫理や職務について理解させる		
細目	時間	内容	
介護職員の倫理と職務① 担当講師 越智 留美	9:30 6 16:40	1 介護職の職業倫理 2 生命倫理	① 倫理と尊厳の理解 ② 利用者本位、自己支援、利用者の代弁 ③ 守秘義務 ④ 専門的、総合的なサービスの提供と積極的連携 ⑤ 虐待等の発見と人権の擁護 ⑥ 個人情報の保護と活用、情報開示 ⑦ 所属機関と専門職としての倫理 ⑧ 地域福祉の推進 ⑨ 後継者の育成 ① 生命と倫理 ② ターミナルにおける倫理 ③ 医療の進歩と倫理 ④ 医療・看護の倫理、パートナーリズム
介護職員の倫理と職務② 担当講師 越智 留美	9:30 6 16:40	3 基本的マナー	① 挨拶・礼儀 ② 依頼、助言、配慮ある断り方 ③ 利用者から金品を渡された場合の対応等
介護職員の倫理と職務③ 担当講師 越智 留美	9:30 6 16:40	4 介護職の職場の仕組みと職務内容	① 介護業務の共通性と事業別の特性 ② ケアマネジャー、サービス提供責任者等の役割とサービス実施のプロセス ③ 事業の特性に応じた業務の流れ ④ 同職種内のチームワームと他職種と連携
介護職員の倫理と職務④ 担当講師 越智 留美	9:30 6 16:40	5 サービス提供時の契約と留意事項 6 報告、会議、記録	① 利用者との契約 ② 文書による確認 ③ 物品の保管 ④ 金銭管理 ⑤ 事故における事業者・労働者の責任 ① 打合せ、引き継ぎ、会議の持ち方、進め方と発言の仕方 ② 記録の役割と書き方、活用法
介護職員の倫理と職務⑤ 担当講師 越智 留美	9:30 6 16:40	7 介護事故等の予防と対策への組織的取り組み 8 よいキャリアの為に自己研鑽、心身の健康管理等	① セーフティマネジメント ② ヒヤリ・ハットの事例の活用 ③ 感染症の予防と対策 ④ 身体拘束の禁止 ① 専門職としての自覚と質の向上 ② 健康管理、ストレスマネジメント ③ 介護職の労働の権利と制度
時間数合計	30		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 事前学習		
指導目標	1 実習を円滑に実施するため、研修事業者において、実習の目標、スケジュール、留意点等についてオリエンテーションを行い、実習の課題・問題意識を形成する		
	2 演習等により、基本的な介護技術の習得の有無を確認するとともに、事故防止の留意点を理解させる。		
	3 実習記録の書き方を理解させる。		
細目	時間	内容	
事前学習 担当講師 村上 由佳	9:30 6 16:40	1 オリエンテーション、 実習計画について	① 施設の概要(目的・機能等) ② 実習目標の設定・計画・問題意識について ③ 基本的接遇・心構え(挨拶服装などのマナー/ 実習態度/個人情報保護/健康管理等) ④ 事故防止のための注意点
事前学習 担当講師 村上 由佳	9:30 2 11:30	1 実習記録について	① 実習記録の書き方・留意点
時間数合計	8		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 施設・居住型実習		
指導目標	1 介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。		
	2 また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。		
細目	時間	内容	
施設・居住型実習	8:30~17:30 10日間×8時間	<p>【展開例】</p> <p><初日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、施設見学、職員紹介。 ・利用者への紹介。 <p><初日~5日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れを把握。 ・医療器具、福祉用具の使用法、取り扱いについて説明を受け使用場面を見学する ・PT、OT、ST等による機能訓練の見学。 ・利用者とのコミュニケーション。 ・レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法等に利用者とともに参加。 ・補助要務(食事、入浴、排泄関連業務、環境整備等)。 ・軽度者の食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動・移乗等の介護を職員指導下で体験。 ・申し送り参加。 ・実習記録。 <p><6~10日></p> <p>(<初日~5日>の内容を深めるとともに、下記を加える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス見学。 ・重度者への食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、移動・移乗、体位変換を職員指導下で体験。 ・認知症の利用者への援助。 ・一人の利用者について、個性、嗜好、暮らしの様子、習慣、人間関係等について観察したことをまとめ、可能であれば模擬的に生活プラン、ケアプランを立案する。 ・記録、ケアプランを閲覧する。 ・各職種からの聞き取り、あるいは意見交換等を行う。 ・実習反省会。 	
時間数合計	80		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 通所・小規模多機能型実習		
指導目標	1 通所系サービスの機能・内容、および他の居宅サービスとの連携を理解できるよう留意する。		
	2 介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。		
	3 また、介意目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。		
細目	時間	内容	
通所・小規模多機能型実習	8:30~17:30 5日間×8時間 (訪問介護実習と合わせて)	【展開例】 <初日> ・オリエンテーション。 ・施設見学、職員紹介、利用者紹介。 <初日~3日> ・一日のプログラムを把握。 ・配膳、環境整備。 ・送迎時の介護、送迎車乗降介護の補助。 ・到着後の健康状況観察補助。 ・私物持参品の管理補助、個別生活支援。 ・利用者とのコミュニケーション。 ・プログラム、行事への参加。 ・食事、口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動・移乗等の介護 または補助を職員指導下で体験。 ・カンファレンス見学。 ・記録・通所介護計画等を閲覧する。 ・実習記録。 ・実習反省会。	
時間数合計	40		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 訪問介護実習		
指導目標	1 訪問介護サービスの機能・内容、および他の居宅サービス、関係機関との連携や、社会資源の活用状況、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。		
	2 関係機関との連携や社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。		
	3 利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解させる。		
	4 在宅の生活、利用者の日常生活の多様性、および介護の工夫の現状と自立に向けた支援の考え方について理解できるよう留意する。		
細目	時間	内容	
訪問介護実習	8:30:~17:30 5日間×8時間 (通所・小規模多機能型実習と合わせて)	【展開例】 <初日> オリエンテーション、職員紹介。 <初日~3日> ・訪問先の確認(利用者情報・訪問介護計画) ・利用者への紹介・コミュニケーション。 ・身体介護の実際を体験する。 ・家事援助の実際を体験する。 ・カンファレンス見学。 ・訪問記録、訪問介護計画等を確認・閲覧する。 ・実習記録。 ・実習反省会。	
時間数合計	40		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 地域の社会資源実習		
指導目標	1 地域全体の社会資源、サポートシステムについて、理解できるよう留意する。		
細目	時間	内容	
地域の社会資源実習	11:30 4	地域社会資源(介護保険事業以外のNPO、ボランティアグループ、当事者団体、社会福祉協議会など)を訪問し、活動の見学や、活動者に対するインタビューを行い、地域の中での暮らしを豊かにしていくための活動・サポートのあり方を考察する。	
	16:30		
時間数合計	4		
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		

介護職員基礎研修科目別シラバス

事業者名	研修担当部署	講習期間	実施場所
医療法人啓信会	ヘルパースクール萌木の村	H24.2.1 ~ H27.1.31	大久保校
科目名	1 事後演習		
指導目標	1 個々人に実習の経験・気づき、自己の介護観等をまとめさせるとともに、個々人の経験を比較・相対化し、学びの共有化、意味付けを行う。		
	2 介護の現場における理想と現実の違いについて理解・認識を促す		
	3 実習は介護の現場を体験的に理解する場であり、その経験がすべてではないことを理解させること。		
	4 介護行為の根拠となっている知識や基本的な介護技術を再認識させる。		
細目	時間	内容	
事後演習 担当講師 團野 千津代	9:30 6 16:40	1 報告・反省とまとめ ① 自己の振り返り ② 実習目標の達成状況の確認 ③ 介護技術の再認識	
事後演習 担当講師 森 恵子	9:30 2 11:30	2 報告・反省とまとめ ① 介護職員としての今後の課題	
使用する機器・備品等			
使用テキスト	(財)長寿社会開発センター 介護職員基礎研修テキスト		